

パーソナリティ・アセスメント<入門>

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会」(ワークショップ)の承認を受けております。 <承認期間:平成29年7月1日~平成34年6月30日 承認番号:W29111>

期 日：2018年12月1日(土)・2日(日)

受講対象：臨床心理士・スクールカウンセラー・相談員・看護師等、またはそれらを目指している方、病院・学校・児童相談所・矯正施設・福祉施設の各現場に関わっている専門家、及び興味のある方で以下のテストについて学ぼうとする初心者

定 員：80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団

会場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10 ☎03-3986-7021

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

臨床現場で心理アセスメントに求められているのは、クライアントが抱えている心理的問題を個別に的確に把握し理解することです。それには、クライアントひとりひとりに適した複数の心理テストを選び組み合わせ、多面・多層的に評価することが必要です。しかし残念ながら、複数の心理テストを本格的に学び実習するような研修の機会はなかなかありませんでした。そのため、2003年度から『パーソナリティ・アセスメント講座』と題し、本財団では、心理臨床で多用されている色々なテストを順次取り上げ研修講座を始めました。この「入門講座」ではまったくの初心者を対象に、基礎的知識と実施法、解釈法を学びます。

今回はMMPI、P-Fスタディ、ハンドテストの3つの心理検査を取りあげました。MMPIは日本における使用頻度は米国ほど高くはないのですが、心理アセスメントとして国際的に採用されています。また、米国では神経心理学検査の1つとしても認識されています。P-Fスタディは本来の欲求不満反応の測定道具としてだけでなく、被検査者の文脈把握の特徴をみる上でも有用な検査としての認識が高まっています。ハンドテストはロールシャッハ・テストの研究者としても著名なワグナーが創案したことから分かるように、視覚連想検査の1つです。手という対人コミュニケーションの原型を見る上で有益な心理検査です。そして今日の心理アセスメントの一翼を担う神経心理学的検査を、神経心理学の基礎知識とともに学びます。神経心理学的基礎知識は、他の心理テストの結果を解釈し理解する上でも有用だと思われます。講師には、その分野にたいへん経験豊かな専門家をお願いしました。受講者の皆さんには、本講座を通して、心理アセスメントの臨床的効用と限界を理解し、心理アセスメント力を高めるきっかけを作っていただければ幸いです。

【企画講師 小川 俊樹】

| | 日程 | 時間 | テーマ | 講師(敬称略) |
|-------|----------|-------------|-------------------------|---------------------------|
| プログラム | 12月1日(土) | 13:30~15:00 | パーソナリティ・アセスメントをめぐって(総論) | 放送大学 客員教授 小川 俊樹 |
| | | 15:15~17:15 | 神経心理学検査と神経心理学の基礎知識 | 法政大学 教授 望月 聡 |
| | 12月2日(日) | 9:30~11:30 | P-Fスタディ | 筑波大学 准教授 青木 佐奈枝 |
| | | 12:30~14:30 | ハンドテスト | 聖徳大学心理・福祉学部 准教授 佐々木 裕子 |
| | | 14:45~16:45 | MMPI | 石川県立看護大学 教授 武山 雅志 |

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。